

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和7年第36週 (9月1日～9月7日)



新型コロナウイルス感染症がさらに増加しました

今週、竹田市調査医療機関からの報告数は100名と、先週の94名から4週連続で増加しました。豊肥保健所管内では、定点あたり9.40人から15.60人に、大分県全体でも定点あたり12.72人から13.88人に増加しました。豊肥管内および大分県ともに、流行発生注意報レベルを上回っている状態となりました。

感染対策として、手洗い、うがい、換気、咳エチケットが有効です。エアコンを使用する際は、定期的な換気を行い、閉め切った状態が長く続かないように気をつけましょう。

大分県でSFTS（重症熱性血小板減少症候群）患者が過去最多を更新しました

大分県でのSFTSの報告数が13名となり、これまで最多だった2013年の12名を更新しました。全国でも149名報告されており、過去最多となっています。

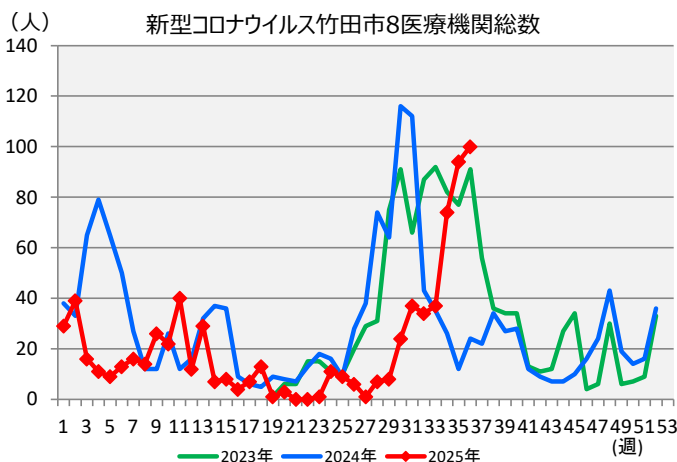
SFTSは、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることにより感染します。6日～2週間の潜伏期間の後、発熱や下痢、食欲不振や嘔吐を主症状として発症し、重症化することもあります。ウイルスを保有するマダニ類は、野外の藪や草むらに生息し、気温が高くなる春から秋にかけて活動は活発になります。レジャーや農作業など屋外で活動するときは、肌の露出を少なくし、ダニに咬まれないようにご注意ください。もし、ダニに咬まれた場合は、無理に引き抜かず、皮膚科などの病院を受診してください。

また、SFTSは犬や猫などの動物にも感染します。散歩の際は、ペット用のダニ駆除剤などの使用や、散歩後のペットの体の表面を確認するなどの対策をしましょう。SFTSを発症した動物の体液や血液を直接触れると、感染する場合がありますので、動物が体調不良の時は、咬まれたり舐められたりしないように気をつけましょう。



(第36週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（みずぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎	麻しん（全数報告）	風しん（全数報告）	百日咳（全数報告）	つつが虫病（全数報告）
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳				1							1								
4～6歳				4			1												
7～9歳				3															
10～14歳				6					1										
15～19歳				6															
20歳以上				80				2											
今週				100			1	2	1		1								
70歳以上（再掲）				31															
先週				94				2			4		1						



重症熱性血小板減少症候群（SFTS）届出数

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
全国	60	90	77	101	78	110	118	134	120*1	149*2
大分県	3	3	2	5	7	2	7	12	10*1	13*3

*1 未確定値、

*2 35週まで、

*3 2025年9月9日時点

令和7年度 豊肥保健所管内で1名報告がありました。